

安全・安心のまちづくりに係るデータを活用したスマートシティのあり方検討事業(別紙)

実施地域	兵庫県加古川市
実施団体	同上
事業概要	加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、「子育て世代に選ばれるまち」の実現に向けて、安全・安心分野をはじめとした複数分野のデータを収集し分析等を行う基盤(プラットフォーム)を整備する。また、見守り活動等を行う市民ボランティアをはじめ、学識者や民間事業者などの多様な主体が参画できる取組み体制を構築する。

(1) 3つの事業目的の実現

安全・安心インフラ統合ダッシュボード (表示アプリケーション)

- ・分野別データのレイヤ表示
- ・重層表示による各地域の一元的把握
- ・本事業においてプロトタイプを構築
(必要な機能や画面レイアウト等を検討)
- ・来年度以降、本格運用に向けた機能更新予定



(2) 安全・安心インフラ統合データプラットフォーム (3) 複数分野のデータ利活用



(1) 3つの事業目的

- ①市民満足度の向上による移住・定住人口の増加
- ②市民のQoL・生産性の向上、財政負担の軽減
- ③地域力(地域コミュニティ)の強化と地域活性化

(2) 安全・安心インフラ統合データプラットフォーム

- ①クラウドシステムの採用やデータ連携を想定
- ②FIWARE(ファイウェア)を中心に構成(検討)
- ③データ利活用のためのオープンAPIを公開予定

(3) 複数分野のデータ利活用

- ①防犯まちづくり: 見守りカメラ、見守りサービスログ情報、(スマホアプリ)ボランティア参加者属性
- ②交通まちづくり: プローブデータ
- ③防災まちづくり: Wi-Fiログ情報、(スマホアプリ)コミュニティアプリ利用ログ